

2024. 4. 4 始業式校長講話の要旨

「挨拶は先手必勝倍返し」という言葉があります。

挨拶は先にした方が勝ちということではありません。先に挨拶されたら、私に挨拶してくれてありがとうという気持ちを倍にして、挨拶を返しましょうという意味の言葉です。

マスクの着用、ソーシャルディスタンス、密の回避など、人間関係が希薄になりがちであったコロナ禍でしたので、今一度、挨拶のもつ意味を考えてもらいたいと思います。

挨拶という漢字の意味は、心を押し開くという意味です。

「私は怪しいものではありません」という意味があるようです。

明日以降、朝、昇降口の前で、私は皆さんに「おはよう」という挨拶をしたいと思います。

独り善がりかもしれませんが、挨拶を交わしてくれると嬉しいです。

コロナ下で奪われたものが対面での挨拶や会話で、替わりに起こってきた問題がSNS上のトラブルです。LINEなどのSNSのやり取りは人間関係をこわすきっかけとなる一番の要因です。気持ちはSNSではなく、対面で伝えることを心がけましょう。

SNS上のやり取りも含め、今「いじめ」という問題が世間を騒がせています。

すべてのケースが当てはまりませんが、相手が「いじめ」と感じたら、そんなつもりはないのに「いじめ」となってしまうこともあります。1年生も入学してきます。年度当初は、特に気を付けましょう。

「大声で校歌を歌う」こともコロナで奪われたものの一つです。

私は教員として、これが一番悲しいことです。

一昔前は、高校に入学して最初にやるべきことは、勉強ではなく校歌を覚えることでした。まずは、新入生に愛校心（学校に対する誇りとプライド）を伝えることが、先輩としてのミッションという古き良き時代がありました。その気持ちは今も大切にしてほしいものです。ぜひコロナが終息した今、校歌を覚えて母校のために歌う文化を復活させてほしいと思います。7年後を目途に再編統合を迎えることが決まっています。70年以上歌い継がれてきた校歌も新しくなることと思われまます。

だからこそ、あえてこの素晴らしい校歌を統合まで歌い続けてほしいと思っています。

今回の校長講話は、**挨拶と校歌のお話**でした。

新年度が始まりました。明日新入生も入学します。桜もこれから咲き始めます。

心も新たに、勉強に部活動に挑戦しましょう。

皆さんの令和6年度を応援します。頑張ってください。